

特定非営利活動法人 ほっとはうす 令和2年度 事業報告

1. 事業の成果

【介護サービス事業】

小規模多機能型居宅介護事業

世界的に猛威を振るっている新型コロナウイルスに振り回された一年間、変異株の到来が重なり未だに収束が見通せない状況が続いている。様々な基礎疾患を抱える高齢者が利用している当事業所は、常に高いリスクを抱え、感染予防に十分な配慮を行いながら不安と緊張の中で介護支援に携わってきた。今後も予断を許さない状況ではあるが、「持ち込まない・持ち出さない・拡げない」という感染予防対策の原則に立ち返り、利用者の健康を守ることに努めてきた。

開設から10年を経過した「笑の里」は、コロナ禍ではあったが、介護施設や通所、訪問系の介護サービス事業所では対応が困難と思われる要介護者も受け入れ、「通所」「訪問」「泊まり」の三つのサービスを柔軟に組み合わせ、ご家族のサポートを行いながら専門的なケアの提供により在宅ケアの支援に努めた。その結果、医療施設の地域連携室や各地域包括支援センター、行政の担当課からの相談や依頼も増え、利用登録者は毎月20名以上を確保でき順調な事業運営を行うことができた。

利用者やその家族の多種多様なニーズに対応するためには、職員の確保やスキルアップは重要な課題である。計画的な年次有給休暇の取得や残業時間の削減等、働きやすい職場づくりに努め、職員体制もようやく整い定着しつつある。今年度はコロナ禍であったことから、外部研修の延期や中止も相次ぎ参加が困難であった。そのため、毎月実施しているケア会議やカンファレンスを通して、職員相互のスキルアップや介護技術の向上に努めてきた。今後もマンパワーの強化を図りつつ利用者やご家族のサポートに取り組んでいきたい。

隔月に開催してきた運営推進会議は、感染予防のため会議の自粛を余儀なくされ、地域の方々からの率直なご意見や情報をいただける機会を逃すこととなった。何らかの形で情報収集できるよう検討していきたい。

今後とも、利用者が住み慣れた地域での生活を継続できるよう、地域住民の方々との交流も図りながら、地域の介護サービスの一つの拠点として、近隣の方々が気軽に立ち寄っていただき、生活や身の回りの相談へのアドバイスなど身近な支援施設となるよう取り組んでいきたい。

【介護予防事業（ふれあいサロン）】

新型コロナウイルスの感染予防のため、各地域における活動が自粛される中、高齢者の方々の居場所が失われてきた状況がある。

「ふれあいサロン」は毎月2回開催し、参加者も増加し、笑の里の利用者と交流しながら、楽しく一日を過ごしていただくことができた。ビデオ体操やパズルなどで、筋力の維持向上や脳トレに取り組み、季節ごとの行事にも参加していただいた。

小規模多機能型居宅介護事業所 笑の里

令和2年度 事業報告

<運営>

① 利用登録状況

- ・月平均 22.7名
- ・新規登録 14名 (5月3名、6月2名、10月1名、11月2名、12月1名、1月2名、2月1名、3月2名)
 - …包括5 居宅CM2 利用者家族3 病院2 長寿福祉課1 老健1
- ・再開登録 2名
 - …老健退所2
- ・終了 10名
 - …死亡(病院)3 医療機関入院1 GH1 転居 1 老健入所4
- ・要介護度 平均2.2

※ 「昨年度との比較」

- ・施設入所や入院、死亡等により、一時的に20名程度の登録となった時期はあったが、平均して計画通りの登録数の確保はできた。
- ・要介護度は同程度であるが、要支援認定者および要介護1の登録割合が増えているので平均介護度は軽度化している。
- ・独居世帯が4割を超え、訪問数は増加傾向にある。
- ・1年のうち10ヶ月、老健施設へ入所されている登録者が2名ある。登録数が上限に達した際は受け入れ調整が必要となる。

※ 「医療ケース」

- ・ストマ1
- ・在宅酸素3
- ・居宅療養管理指導4

※ 「他職種との連携ケース」

- ・地域包括支援センターからの相談が増加。特に安土町方面のケースが多い。また医療ケアが必要なケース、ネグレクトケース相談が増加傾向。
- ・後見人制度利用者は2名。
- ・利用者の主治医との面談、受診同行、毎月の情報提供(書面)等を行ってきたが、支援が必要な独居や高齢者世帯が増加。介護保険外サービスとして通院・入退院支援を行った。現在、保険外サービス契約は11件。
- ・退院、退所時のカンファレンスが中止となるケースもあり、電話や文書による情報提供・情報共有が増えた。

② 利用者一人ひとりに必要適切な回数の通いサービスの提供、訪問サービスでのフォロー、泊まりサービスの調整を行い、利用者の心身状態およびご家族のサポートを行った。

- ・通い…月平均 307回、1日あたり10名、ニーズに応じた計画実施。
- ・訪問…月平均 246回、1日あたり8回、通い送迎前後の身体介護や家事支援、在宅日の食事サービス支援が増加。服薬、掃除、買い物、薬の受け取り・医療費支払い等、適切に対応。
- ・泊まり…月平均 9.5回稼働、1回あたり4.3人、在宅支援を基本としたサービス計画に基づき、必要に応じた回数を実施。

③ 事故報告

通院や入院となる事故はなかったが、ヒヤリハットは毎月、報告があり、都度対策を講じ、未然に事故を防ぐよう努めた。

- ④ 職員体制
・入職…非常勤調理員を2名採用（5月・12月）

<取り組み>

- ① 登録者の心身の状態変化に伴う要介護度の見直しを適宜、モニタリングし、適切な要介護度の認定のもと、一人ひとりの能力、レベルに応じたサービスを提供。
- ② コロナ感染症対策として、手指消毒やうがい、室内や送迎車内の換気を行い、業務にあたった。
ご家族の行事参加は見合わせている。
市の指導により、運営推進会議は書面会議に変更している。
- ③ 防災訓練は1回実施。
日々の設備および備品点検は、毎日実施・記録し、防災の意識につなげている。

<日課・月間予定>

- ① 行事
・コロナ禍のため、外食は自粛、ドライブや散歩に出かけ気分転換を行った。
事業所内で行える企画で対処した。
- ② 研修
・外部研修は控えた。
・Web開催の研修は参加した。
- ③ 会議
・「ケア会議」
業務改善・ケアの統一化・リスクマネジメントを主旨とし、実施。
非常勤職員の出席を考慮し、昼間の業務時間帯に実施。また、各職員が自発的、積極的に取り組めるよう会議内容や時間については次年度、再度、検討することとした。
・「カンファレンス」
モニタリング、ケア目標の設定を行い、ケアの充実に向けての方策を考案。毎月実施。

<ふれあいサロン>

- ① ボランティア協力のもと、自宅での閉じこもり予防、外出支援として、毎月2回、実施。
- ② 生活や身のまわりの困りごとなどの相談に応じ、要介護状態にならないようアドバイスしたり、福祉や介護保険制度の専門的な相談に応じた。
- ③ R2年10月～利用者1名増え、現在3名の利用あり。

小規模多機能型居宅介護事業所「笑の里」年間報告

	行事・レクリエーション		研修・評価		会議等		防災		その他	
	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容	内容
4月	8.9 お花見ドライブ 9.10 お菓子づくり			カンファレンス(25日)		自主点検		笑だより発行 サロ(9.17)		
5月	適宜 ドライブ散策			カンファレンス(30日)・マシ・メント会議(20日) 運営推進会議書面(29日)		自主点検		笑だより発行・サロ(15.29) ノウリス・0-157予防喚起		
6月	12 19.20 昼食づくり(焼きそば) 父の日感謝デー			カンファレンス(25日)		自主点検		笑だより発行・サロ(12.25) ほっとはうす総会(12)		
7月	3.4 七夕まつり・紙芝居・ゼリーづくり			サロ会議(13日)・カンファレンス(31日)		自主点検		笑だより発行 サロ(10.20)		
8月	21.22 夏まつり			サロ会議(4日.31日)・カンファレンス(28日)		自主点検 防災訓練(4日)		笑だより発行 サロ(3.21)		
9月	18.19 敬老祝賀会			サロ会議(30日)・カンファレンス(29日) 小多機部会(3日)		自主点検		笑だより発行 サロ(7.18)		
10月	1.2 16.17 ひまわりドライブ 運動会			サロ会議(1日)・カンファレンス(26日) 運営推進会議書面(23日)		自主点検		笑だより発行・サロ(5.16) インフルエンザ予防接種(21.29)		
11月	16.17.18 17.18 紅葉狩りドライブ お菓子づくり			サロ会議(2日)・カンファレンス(27日) 運営推進会議(20日) 小多機部会(19日)		自主点検		笑だより発行 サロ(6.16)		
12月	24.25 クリスマス会		自己評価	サロ会議(3日)・カンファレンス(28日)		自主点検		笑だより発行・サロ(12.24)		
1月	21 27 29 もちつき 五平餅づくり 獅子舞		小規模部会研修DVD	サロ会議(16日)・カンファレンス(28日) 運営推進会議(13日) 小多機部会(21日)		自主点検		笑だより発行・サロ(8.21) 年始通い休業(1.2)		
2月	2.3 節分豆まき	25	外部評価 新型コロナウイルス感染症研修	サロ会議(1日)・マシ・メント会議(24日) カンファレンス(27日)・運営推進会議書面(27日)		自主点検		笑だより発行・サロ(4.19) サービスイノベーション		
3月	2.3 29 ひな祭り お花見ドライブ			サロ会議(4日)カンファレンス(30日) 運営推進会議書面(31日)・		自主点検		笑だより発行・サロ(4.20) 自治会議所清掃・自治会議		

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の 範囲及び人数	支出額 (千円)
高齢者の介護 事業及び介護 支援事業	小規模 多機能型 居宅介護事業	通年 <通所> 9:00~15:45 (363日) <訪問> 随時 (365日) <宿泊> 18:00~9:00 (122日)	近江八幡市 千僧供町 127-1		<登録者> 月平均 22人 <通所利用> <通所> 3~8人/日 7~15人/日 307人/月 3,688人/年 <訪問利用> <訪問> 2~5人/日 6~10人/日 241人/月 2,892人/年 <宿泊利用> <宿泊> 1人/日 4~5人/日 48人/月 570人/年	45,384
介護予防支援 事業	ふれあい サロン事業	毎月2回 10:00~15:30 (年間24回)	近江八幡市 千僧供町 127-1 「笑の里」にて	ボランティア 1名	介護認定を受け ていない高齢者 2~3名/回	

※詳細については利用状況を参照

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	支出額 (千円)
なし					

令和2年度「笑の里」利用状況

利用件数

	通所		宿泊		訪問	
	件数	稼働日	件数	稼働日	件数	稼働日
4月	297	30	45	10	217	30
5月	303	31	53	11	210	31
6月	321	30	56	12	223	30
7月	320	31	43	9	235	31
8月	320	31	36	8	230	31
9月	323	30	48	10	237	30
10月	375	31	61	13	233	31
11月	274	30	45	10	205	30
12月	277	31	50	11	233	31
1月	270	29	53	11	288	31
2月	264	28	35	8	268	28
3月	344	31	45	9	313	31
計	3,688	363	570	122	2,892	365
月平均	307	30	48	10	241	30

稼働率

	定員/日(人)	平均利用者数(人/日)			平均介護度	新規(再)利用者(人)	退所者数(人)
		通所	宿泊	訪問			
4月	通所18人 宿泊5人	9.9	4.5	7.2	2.52	1	2
5月		10.1	4.8	6.8	2.5	2	1
6月		10.7	4.7	7.4	2.31	2	1
7月		10.3	4.8	7.6	2.33		1
8月		10.3	4.5	7.4	2.16		1
9月		10.7	4.8	7.6	2.16		
10月		12.1	4.7	7.5	2.45	3	1
11月		9.1	4.5	6.8	2.21	2	1
12月		8.9	4.5	7.5	1.89		4
1月		9.3	4.8	9.3	2.04	3	
2月		9.4	4.4	9.6	2.00	1	1
3月		11.1	5.0	10.0	2.00	3	2
年間平均		10.2	4.7	7.9	2.21		

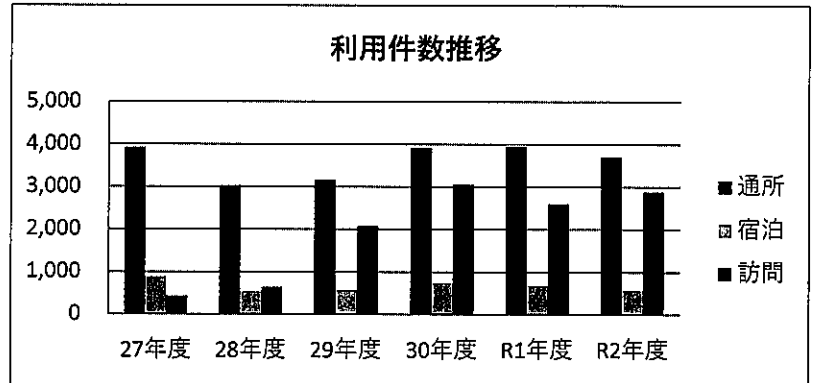
介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
要介護1	7	7	7	7	8	8	8	10	10	10	10	10	102
要介護2	3	4	6	5	5	5	4	5	5	6	6	6	60
要介護3	2	2	2	2	2	2	3	4	2	2	2	3	28
要介護4	1	1	1	1	0	0	1	1	0	0	1	2	9
要介護5	4	4	3	3	3	3	4	3	2	3	2	1	35
小計	17	18	19	18	18	18	20	23	19	21	21	22	234
要支援1	2	2	2	2	1	1	1	0	0	1	1	1	14
要支援2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	19
小計	4	4	4	4	3	3	3	1	1	2	2	2	33
総計	21	22	23	22	21	21	23	24	20	23	23	24	267

笑の里 利用者数の推移

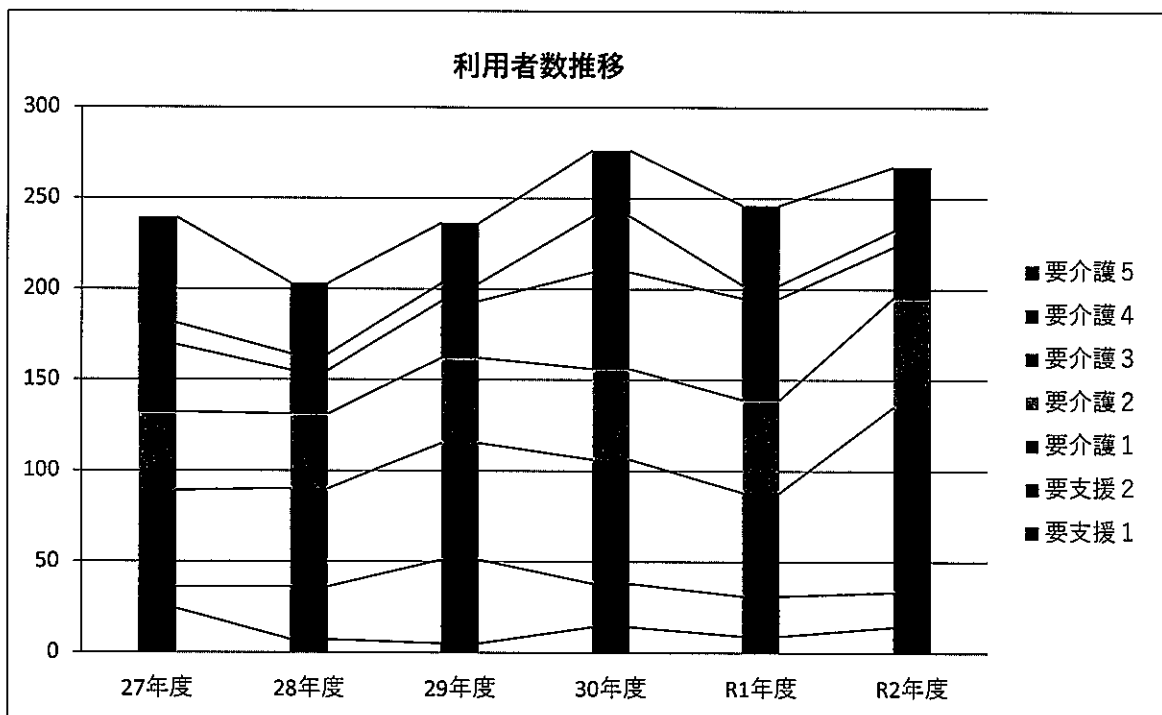
※利用件数

	通所	宿泊	訪問
27年度	3,917	883	433
28年度	3,017	539	640
29年度	3,146	575	2,075
30年度	3,908	747	3,052
R1年度	3,946	690	2,599
R2年度	3,688	570	2,892



※利用者数

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	平均介護度
27年度	24	12	53	43	37	12	58	239	2.9
28年度	7	29	54	41	24	9	39	203	2.6
29年度	5	46	64	47	31	10	33	236	2.5
30年度	14	24	68	50	53	31	36	276	2.7
R1年度	9	22	57	51	56	7	44	246	2.7
R2年度	14	19	102	60	28	9	35	234	2.2



特定非営利活動に係る活動計算書
令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目	金 額	(単位:円)
I 経常収益		
1. 介護保険収入		50,294,383
介護報酬収入	40,046,867	
利用者負担金収入	10,247,516	
2. 助成金収入		1,161,000
コロナ対策助成金	1,161,000	
3. 雑収入		573,000
雑収入	573,000	
4. 事業収入		59,400
サロン事業	59,400	
経常収益合計		52,087,783
II 経常費用		
1. 事業費		45,384,777
(1)人件費		37,438,999
職員給料手当	31,684,097	
コロナ対応慰労金	800,000	
法定福利費	3,997,980	
福利厚生費	956,922	
(2)その他経費		7,945,778
教養娯楽費	58,938	
諸謝金	69,536	
通信運搬費	283,416	
広報費	3,960	
消耗品費	343,384	
什器備品費	366,161	
保健衛生費	333,422	
食材費	2,299,080	
光熱水費	854,180	
修繕料	280,555	
印刷製本費	106,073	
燃料費	567,329	
車輛費	384,460	
保険料	852,890	
委託料	379,404	
手数料	61,700	
賃借料	547,290	
諸会費	43,000	
地代家賃	111,000	
2. 管理費		2,711,832
(1)人件費		1,800,000
役員報酬	1,800,000	
(2)その他経費		911,832
交際費	147,089	
会議費	1,206	
旅費交通費	55,340	
租税公課	180,197	
支払報酬	528,000	
雑費		
3. 減価償却費		2,696,042
減価償却費	2,696,042	
経常費用合計		50,792,651
当期経常増減額		1,295,132

令和2年度特定非営利活動に係る事業会計 貸借対照表

令和 3年 3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科 目 ・ 摘 要	金 額	(単位:円)
I 資産の部		
1 流動資産		
現金	362,079	
普通預金	17,558,717	
定期預金	70,007,208	
未収金 (介護報酬)	7,895,184	
流動資産合計		95,823,188
2 固定資産		
【有形固定資産】		
建 物	16,953,520	
建物付属設備	2,276,235	
車輛運搬具	720,500	
器具および備品	59,043	
土 地	1,500,000	
固定資産合計		21,509,298
資産の部 合計		117,332,486
II 負債の部		
1 流動負債		
未払金	4,187,812	
未払法人税等	342,900	
預り金	39,738	
流動負債合計		4,570,450
負債の部 合計		4,570,450
III 純資産の部		
前期繰越正味財産	111,806,550	
当期正味財産増減額	955,486	
純資産合計		112,762,036
純資産の部 合計		112,762,036
負債及び純資産の部合計		117,332,486

令和2年度 特定非営利活動に係る事業会計 財産目録

令和3年3月31日現在

特定非営利活動法人 ほっとはうす

科目・摘要	金額 (単位:円)	
I. 資産の部		
1 流動資産		
現金・預金		
現金手許有高	362,079	
普通預金 (滋賀銀行八幡南出張所)	17,558,717	
定期預金	70,007,208	
未収金 介護報酬 (2.3月分)	7,895,184	
流動資産合計		95,823,188
2 固定資産		
建物 (笑の里)	16,953,520	
建物付属設備 (スプリンクラー、物置)	2,276,235	
車両運搬具	720,500	
器具および備品	59,043	
土地 (近江八幡市千僧供町127番地1)	1,500,000	
固定資産合計		21,509,298
資産の部 合計		117,332,486
II. 負債の部		
1 流動負債		
未払金 (3月分給与等)	4,187,812	
未払法人税等	342,900	
預り金 (雇用保険料等)	39,738	
流動負債合計		4,570,450
負債の部 合計		4,570,450
正味財産合計		112,762,036

財務諸表の注記

1. 重要な会計方針

- ・財務諸表は、中小企業会計基準により作成。
- ・収益及び費用の計上基準 …… 発生主義
- ・固定資産の減価償却の方法
建 物 …… 定額法
付属設備・車両運搬具・什器備品 …… 200%定率法
- ・有価証券の評価基準及び評価方法 …… 取得原価法

2. 固定資産(減価償却)の増減内訳

科目	取得価額	期首帳簿価額	取得	減少	当期償却額	期末帳簿価額	償却累計額
建物	25,005,186	18,103,758			1,150,238	16,953,520	8,051,666
付属設備	8,377,000	3,055,690			779,455	2,276,235	6,100,765
車両運搬具	5,559,667	1,440,996			720,496	720,500	4,839,167
器具・備品	460,988	104,896			45,853	59,043	401,945
ソフトウェア	210,000	0			0	0	210,000
計	39,612,841	22,705,340	0	0	2,696,042	20,009,298	19,603,543

3. 役員等との債権債務は一切ない。